



# SIP フェデレーション用の外部サーバコンポーネントの設定

- [SIP フェデレーションを行うための Microsoft コンポーネントの設定, 1 ページ](#)

## SIP フェデレーションを行うための Microsoft コンポーネントの設定

次の表に、Microsoft OCS サーバおよび Access Edge サーバでフェデレーションを設定するための簡単なチェックリストを示します。OCS サーバおよび Access Edge サーバの設定および導入の詳細な手順については、Microsoft のマニュアルを参照してください。

表 1: **Microsoft** コンポーネントの設定タスク - **OCS** サーバ

タスク	手順
グローバルフェデレーション設定の有効化	<ol style="list-style-type: none"><li>1 左側のペインのグローバルフォレストブランチで、[プロパティ (Properties)] &gt; [グローバル プロパティ (Global Properties)] &gt; [フェデレーション (Federation)] を選択します。</li><li>2 [フェデレーションとパブリック IM 接続の有効化 (Enable Federation and Public IM Connectivity)] チェックボックスをオンにします。</li><li>3 Access Edge サーバの内部インターフェイスの FQDN およびポート番号を入力します。</li></ol>

タスク	手順
Access Edge サーバのアドレスの設定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 左側のペインのグローバルフォレストブランチで、[プロパティ (Properties)] &gt; [グローバル プロパティ (Global Properties)] &gt; [エッジ サーバ (Edge Servers)] を選択します。</li> <li>2 [Access Edge および Web 会議 エッジ サーバ (Access Edge and Web Conferencing Edge Servers)] ウィンドウで、[追加 (Add)] をクリックします。</li> <li>3 Access Edge サーバの内部インターフェイスの FQDN を入力します。</li> </ol>
各フロントエンドのフェデレーション設定の有効化	<p>フェデレーションを行うフロントエンドサーバごとに、フェデレーション設定を有効化する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 左側のペインのフロントエンドサーバブランチで、[プロパティ (Properties)] &gt; [フロント エンド プロパティ (Front End Properties)] &gt; [フェデレーション (Federation)] を選択します。</li> <li>2 [フェデレーションとパブリック IM 接続の有効化 (Enable Federation and Public IM Connectivity)] チェックボックスをオンにします。</li> </ol>
ユーザが MOC (Microsoft Office Communicator) およびフェデレーションを使用できるようになっていることを確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ユーザ (Users)] タブを選択し、ユーザが MOC を使用できるようになっていることを確認します。</li> <li>• ユーザがこのリストにない場合、管理者は Microsoft Active Directory でユーザが MOC を使用できるようにする必要があります。</li> <li>• また、Microsoft Active Directory でユーザがパブリック IM 接続を使用できるようにする必要があります。 次の URL にある Microsoft Active Directory のマニュアルを参照してください。 <a href="http://technet2.microsoft.com/windowsserver/en/technologies/featured/ad/default.mspx">http://technet2.microsoft.com/windowsserver/en/technologies/featured/ad/default.mspx</a></li> </ul>
セキュリティ証明書の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OCS サーバと Access Edge サーバの間のセキュリティ証明書を設定する必要があります。</li> <li>• CA サーバは、この手順を実行する必要があります。</li> <li>• これらのサーバ間のセキュリティ証明書を設定する方法の詳細については、Microsoft のマニュアルを参照してください。</li> </ul>

表 2: Microsoft コンポーネントの設定タスク - Access Edge サーバ

タスク	手順
DNS の設定	Microsoft のエンタープライズ導入では、_sipfederationtls._tcp.domain をポイントするすべての Access Edge サーバにポート 5061 を介して外部 SRV を設定する必要があります。ここでは、domain は組織の SIP ドメイン名です。この SRV は、Access Edge サーバの外部 FQDN をポイントしている必要があります。
IM Provider として IM and Presence サービスを設定する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 外部 Access Edge サーバで、[スタート (Start)] &gt; [管理ツール (Administrative Tools)] &gt; [コンピュータの管理 (Computer Management)] を選択します。</li> <li>2 左側のペインで、[Microsoft Office Communications Server 2007] を右クリックします。</li> <li>3 [IM プロバイダ (IM Provider)] タブを選択します。</li> <li>4 [追加 (Add)] をクリックします。</li> <li>5 [IM サービス プロバイダを許可する (Allow the IM service provider)] チェックボックスをオンにします。</li> <li>6 IM サービス プロバイダ名 (例: IM and Presence ノード) を定義します。</li> <li>7 IM サービス プロバイダのネットワーク アドレス (この場合、IM and Presence サービスのノードのパブリック FQDN) を定義します。</li> <li>8 IM サービス プロバイダが「public (パブリック)」とマークされていないことを確認します。</li> <li>9 フィルタ オプション、[このプロバイダとのすべての通信を許可する (Allow all communications from this provider)] オプションをクリックします。</li> <li>10 [OK] をクリックします。</li> </ol> <p>IM and Presence サービスのエンタープライズ導入では、各 IM and Presence サービス ドメインの DNS SRV レコードを設定する必要があります。DNS SRV レコードがポート 5061 を介して _sipfederationtls._tcp.IM and Presence_domain をポイントする必要があります。ここで、IM and Presence_domain は IM and Presence Service ドメインの名前です。この DNS SRV は IM and Presence サービス ノードのパブリック FQDN を指定する必要があります。</p>

タスク	手順
アクセス方法の設定の確認	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンソール ツリーで、[Microsoft Office Communications Server 2007] を右クリックします。</li> <li>2 [プロパティ (Properties) ]&gt;[アクセス方法 (Access Methods) ] をクリックします。</li> <li>3 [フェデレーション (Federation) ] チェックボックスをオンにします。</li> <li>4 DNS SRV を使用している場合は、[検出を許可する (Allow discovery) ] チェックボックスをオンにします。</li> </ol>
TLSv1 を使用するよう Access Edge を設定する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ローカルセキュリティ ポリシーを開くには、[スタート (Start) ]&gt;[管理ツール (Administrative Tools) ]&gt;[ローカルセキュリティ ポリシー (Local Security Policy) ] を選択します。  (注) これをドメインコントローラで設定する場合は、パスが [スタート (Start) ]&gt;[管理ツール (Administrative Tools) ]&gt;[ドメインコントローラ セキュリティ ポリシー (Domain Controller Security Policy) ] となります。</li> <li>2 コンソールで、[セキュリティ設定 (Security Settings) ]&gt;[ローカル ポリシー (Local Policies) ]&gt;[セキュリティ オプション (Security Options) ] を選択します。</li> <li>3 詳細ペインで FIPS セキュリティ設定をダブルクリックします。</li> <li>4 FIPS セキュリティ設定を有効化します。</li> <li>5 [OK] をクリックします。  (注) Windows XP で FIPS を有効化した場合、Access Edge サーバのリモートデスクトップに問題が発生することがわかっています。この問題の解決策については、<a href="#">Access Edge に対してリモート デスクトップを実行できない</a>を参照してください。</li> </ol>
セキュリティ証明書の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OCS サーバと Access Edge サーバの間のセキュリティ証明書を設定する必要があります。</li> <li>• CA サーバは、この手順を実行する必要があります。</li> <li>• これらのサーバ間のセキュリティ証明書を設定する方法の詳細については、Microsoft のマニュアルを参照してください。</li> </ul>

## 関連トピック

[企業内の Microsoft OCS/Lync コンフィギュレーション ドメイン間フェデレーション](#)

